職業実践専門課程等の基本情報について

学校名											
日本工学院八王子	専門学校	昭和6	2年3月27日	山野	大星	〒 192-0 (住所) 東京都	983 『八王子市片倉町1	404番地1他			
設置者名		設立	認可年月日	代表		(電話) 042-6	37-3111	斯 2	E地		
	***					〒 144−8			Lag		
学校法人片柳雪	字園	昭和3	31年7月10日	千葉 			『大田区西蒲田5丁 32-1111	目23番22号			
分野		認定課程名		認定学科名			忍定年度	高度専門	□認定年度	職業実	践専門課程認定年度
文化·教養		芸術専門課程		放送芸術科		平成30(2	018)年度	-	-	平	成26(2014)年度
学科の目的	識や専門的		であるプロか								カを養います。総合的な知 カ、技術力、人間力」を身
学科の特徴(取得可能な 資格、中退率 等)	著作権検定日 士3級 中退率:3.99		能力検定B	検ジョブパス3級、映像音	「響処理技術者 』	試験、足場組立て	等作業従事者特別	講習、JUIDAドロー:	/認定資格、	照明技術者技能検	定2級、舞台機構調整技能
修業年限	昼夜	全課程の修了	こ必要な総技	受業時数又は総単位数	講義		演習	実習		実験	実技
2	昼間	※単位時間、単	位いず	1,740 単位時間	1,380 単	位時間	0 単位時間	1,080 単位即	持間	0 単位時間	0 単位時間
年		れかに記入		単位	単	位	単位	単位		単位	単位
生徒総定員	生徒到	€員(A)	留学生数(:	生徒実員の内数)(B)	留学生割合	(B/A)	中退率				
240 人	191	λ		0 人	0 %		4 %				
240 X	■卒業者数		:	125	人			1			
	■就職希望:	者数(D)	:	122	人						
	■就職者数 ■地元就職		:	116 106	<u>\</u>	<u>'</u>					
	■就職率(E	/D)	:	95	%						
	■就職者に	占める地元就職者	者の割合 (F.	/E) 91	%						
	■卒業者に	占める就職者の割	割合 (E/C)								
	■進学者数			93	%						
就職等の状況	■進子有数			2	人	·					
	(令和	5.45	安女 学老/-	関する令和6年5月1日時	占の結ね)						
	■主な就職		及千米日[二	対すの中40十2月1日時	点の情報/						
	(今和5年度)	巫童生)									ナムサコベマ ロ
	(令和5年度)株式会社テ		株式会社日:	放、株式会社エクサートを	公崎、株式会社と	ニーブレーン、株:	式会社タフゴング、3	マーベルアージュ株式	弋会社、株式	会社CRAZY TV、株:	九云 仕ノン アール
	株式会社テ	イクシステムズ、 ネ		放、株式会社エクサートを	公崎、株式会社は	ビーブレーン、株:		マーベルアージュ株式	【会社、株式	会社CRAZY TV、株:	式芸社プラテール
	株式会社テー	イクシステムズ、村	三者評価:		公崎、株式会社は	ごーブレーン、株:	式会社タフゴング、3 有	ヌーベルアージュ株ま	、株式	会社CRAZY TV、株:	式 云 社 ノンテール
第三者による学校評価	株式会社テー	イクシステムズ、村 西機関等から第3 、例えば以下につ	三者評価: Dいて任意記	2載	公崎、株式会社は	ビーブレーン、株:				会社CRAZY TV、株:	式 云社 ブジナール
第三者による 学校評価	株式会社テー	イクシステムズ、木 画機関等から第3、例えば以下につ	三者評価: Dいて任意記	R載 動法人 私立専門学校	公崎、株式会社に			マーベルアージュ株式	載した	会社CRAZY TV、株:	以来社プンテール
学校評価 当該学科の	株式会社テー ■民間の評 ※有の場合	イクシステムズ、木 画機関等から第3 例えば以下につ 評価団体: 特	三者評価: いて任意記 定非営利活 評価研究機	B載 動法人 私立専門学校 構				評価結果を掲	載した	会社CRAZY TV、株:	式 云 社 ノンテール
学校評価 当該学科の ホームページ	株式会社テー ■民間の評 ※有の場合	イクシステムズ、木 画機関等から第3、例えば以下につ	三者評価: いて任意記 定非営利活 評価研究機	B載 動法人 私立専門学校 構				評価結果を掲	載した	会社CRAZY TV、株:	1、云社ノンノール
学校評価 当該学科の	株式会社テー 民間の評 ※有の場合	イクシステムズ、木 画機関等から第3 、例えば以下につ 評価団体: 特 Inneec.ac.jp/depa	三者評価: いて任意記 定非営利活 評価研究機	B載 動法人 私立専門学校 構				評価結果を掲	載した	会社CRAZY TV、株:	1、本社ノンテール
学校評価 当該学科の ホームページ	株式会社テー 民間の評 ※有の場合	イクシステムズ、木 画機関等から第三 例えば以下につ 評価団体:等 neec.ac.ip/depa	三者評価: いて任意記 定非営利活 評価研究機	B載 動法人 私立専門学校 構				評価結果を掲	載した		1
学校評価 当該学科の ホームページ	株式会社テー 民間の評 ※有の場合	イクシステムズ、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	三者評価: DUYで任意記 定非営利活 評価研究機 rtment/crea	記載 動法人 私立専門学校 構 ttors/screen/	受審年月: 平			評価結果を掲	載した	960 単位時間	1、京社ノンノール
学校評価 当該学科の ホームページ	株式会社テー 民間の評 ※有の場合	ボクシステムズ、オー ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一	三者評価: Dいて任意記定非営利活評価研究機 rtment/crea	記載 動法人 私立専門学校 構 ttors/screen/	受審年月: 平			評価結果を掲	載した	960 単位時間 960 単位時間	1. 本社ノンノール
学校評価 当該学科の ホームページ	株式会社テー 民間の評 ※有の場合	ボクシステムズ、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	三者評価: ついて任意記 定非営利活 評価研究機 rtment/crea ら企業等と連 ら企業等と連	記載 動法人 私立専門学校 構 ttors/screen/ 選携した実験・実習・実技の 機した演習の授業時数	受審年月: 平			評価結果を掲	載した	960 単位時間	1、本社ノンノール
学校評価 当該学科の ホームページ	株式会社テー 民間の評 ※有の場合	ボクシステムズ、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	三者評価: Dいて任意記定非営利活評価研究機 rtment/crea	記載 動法人 私立専門学校 構 ttors/screen/ 選携した実験・実習・実技の 機した演習の授業時数	受審年月: 平			評価結果を掲	載した	960 単位時間 960 単位時間	1、本社ノンテール
学校評価 当該学科の ホームページ	株式会社テー 民間の評 ※有の場合	ボクシステムズ、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	三者評価: これで任意記 定非営利活 評価研究機 rtment/cres 6企業等と連 5必修授業能	記載 動法人 私立専門学校 構 ttors/screen/ 選携した実験・実習・実技の 機した演習の授業時数	受審年月: 平 の授業時数	成26年3月		評価結果を掲	載した	960 単位時間 960 単位時間 0 単位時間	1、本社ノンテール
学校評価 当該学科の ホームページ	株式会社テー 民間の評 ※有の場合	ボクシステムズ、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	三者評価: chirtest 定非営利活 定非営利活 Prement/crest 5企業等と連 5企業等と連 5必修授業B	記載 動法人 私立専門学校構 ttors/screen/ 提した実験・実習・実技・ 提した演習の授業時数	受審年月: 平 の授業時数 の実験・実習・実	成26年3月		評価結果を掲	載した	960 単位時間 960 単位時間 0 単位時間 960 単位時間	1、本社ノンテール
学校評価 当該学科の ホームページ	株式会社テー 民間の評 ※有の場合	ボクシステムズ、オーロックステムズ、オーロックスでは以下について、特に関係は以下について、特に関係して、特には、特には、中価団体・特等による算定)を授業時数では、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対して	三者評価: ついて任意記 定非営利活 評価研究機 rtment/cres 5企業等と連 5企業等と連 5必修授業8	記載 動法人 私立専門学校構 ttors/screen/ 提携した実験・実習・実技の提供した演習の授業時数 特数 ち企業等と連携した必修	受審年月: 平 の授業時数 の実験・実習・身 の演習の授業時	成26年3月		評価結果を掲	載した	960 単位時間 960 単位時間 0 単位時間 960 単位時間 960 単位時間	1、本社ノンテール
学校評価 当該学科の ホームページ URL	株式会社テー 民間の評 ※有の場合	ボクシステムズ、オーロックステムズ、オーロックスでは以下について、特に関係は以下について、特に関係して、特には、特には、中価団体・特等による算定)を授業時数では、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対して	三者評価: ついて任意記 定非営利活 評価研究機 rtment/cres 5企業等と連 5企業等と連 5必修授業8	記載 動法人 私立専門学校構 ttors/screen/ 提した実験・実習・実技 提した演習の授業時数 お企業等と連携した必修 な企業等と連携した必修	受審年月: 平 の授業時数 の実験・実習・身 の演習の授業時	成26年3月		評価結果を掲	載した	960 単位時間 960 単位時間 0 単位時間 960 単位時間 960 単位時間 0 単位時間	以来社ググアール
学校評価 当該学科の ホームページ URL	株式会社テー 民間の評 ※有の場合	### (1/5)	三者評価: ついて任意記 定非営利活 評価研究機 rtment/cres 5企業等と連 5企業等と連 5必修授業8	記載 動法人 私立専門学校構 ttors/screen/ 提した実験・実習・実技 提した演習の授業時数 お企業等と連携した必修 な企業等と連携した必修	受審年月: 平 の授業時数 の実験・実習・身 の演習の授業時	成26年3月		評価結果を掲	載した	960 単位時間 960 単位時間 0 単位時間 960 単位時間 960 単位時間 0 単位時間	以来社ググアール
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実習等 の実施状況(A, BL)ず	株式会社テー ■民間の評名 ※有の場合 https://www (A:単位時間	### (1/5)	三者評価: ついて任意記 定非営利活 評価研究機 rtment/cres 5企業等と連 5企業等と連 5必修授業8	記載 動法人 私立専門学校構 ttors/screen/ 提した実験・実習・実技 提した演習の授業時数 お企業等と連携した必修 な企業等と連携した必修	受審年月: 平 の授業時数 の実験・実習・身 の演習の授業時	成26年3月		評価結果を掲	載した	960 単位時間 960 単位時間 0 単位時間 960 単位時間 0 単位時間 0 単位時間	以来社ググアール
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実習等 の実施状況(A, BL)ず	株式会社テー ■民間の評名 ※有の場合 https://www (A:単位時間	### (1/2)	三者評価: DIVT任意記 定非堂利活 評価研究機 ITMENT/OFES DIVENT: DIVEN	記載 動法人 私立専門学校構 はttors/screen/ は携した実験・実習・実技に は携した演習の授業時数 ち企業等と連携した必修 を主業をと連携した必修	受審年月: 平 の授業時数 の実験・実習・3 の演習の授業時 の授業時数)	成26年3月		評価結果を掲	載した	960 単位時間 960 単位時間 0 単位時間 960 単位時間 960 単位時間 0 単位時間	以来社ノンノール
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実習等 の実施状況(A, BL)ず	株式会社テー ■民間の評名 ※有の場合 https://www (A:単位時間	### (1/2) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	三者評価: DINT任意記定非営利活評価研究機 Priment/ores 5企業等と過 5企業等と過 5企業等と 5を業等と 5を業等と 5を発	記載 動法人 私立専門学校構 ttors/screen/ 提した実験・実習・実技に 提した演習の授業時数 特数 ち企業等と連携した必修 ち企業等と連携した必修 連携したインターンシップ	受審年月: 平 の授業時数 の実験・実習・3 の演習の授業時 の授業時数)	成26年3月		評価結果を掲	載した	960 単位時間 960 単位時間 0 単位時間 960 単位時間 960 単位時間 0 単位時間 単位時間	以来社ノンノール
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実習等 の実施状況(A, BL)ず	株式会社テー ■民間の評名 ※有の場合 https://www (A:単位時間	### (1/2) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	三者評価: DINT任意記 定非営利活評価研究機 rtment/ores 5企業等と選 5企業等と うう ち企業等と うう ち企業等と うる企業等と うる企業等と うる企業等と	記載 動法人 私立専門学校構 ttors/screen/ 提した実験・実習・実技に 提した演習の授業時数 ち企業等と連携した必修 を主義した必修 連携したインターンシップ 提携した実験・実習・実技に	受審年月: 平 の授業時数 の実験・実習・3 の演習の授業時 の授業時数)	成26年3月		評価結果を掲	載した	960 単位時間 960 単位時間 0 単位時間 960 単位時間 960 単位時間 0 単位時間 単位時間	以来社ググアール
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実習等 の実施状況(A, BL)ず	株式会社テー ■民間の評名 ※有の場合 https://www (A:単位時間	### (1/2) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	三者評価: DINT任意 定非営利活評価研究機 rtment/ores 5企業等と過 5企業等と過 5企業等と 50を修授業 PT	記載 動法人 私立専門学校構 ttors/screen/ 提した実験・実習・実技に 技した演習の授業時数 特数 ち企業等と連携した必修 を企業等と連携した必修 連携したインターンシップ 提携した演習の授業時数 特数	受審年月: 平 の授業時数 の実験・実習・身 の演習の授業時 の授業時数)	成26年3月 実技の授業時数 時数		評価結果を掲	載した	960 単位時間 960 単位時間 0 単位時間 960 単位時間 960 単位時間 0 単位時間 単位時間 単位	以来はノンケール
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実習等 の実施状況(A, BL)ず	株式会社テー ■民間の評名 ※有の場合 https://www (A:単位時間	### (1/2) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	三者評価: DINT任意 定非営利活 に定非営利活 に対して に対して に対して に対して に対して に対して に対して に対して	記載 動法人 私立専門学校構 ttors/screen/ 提した実験・実習・実技に 技した演習の授業時数 ち企業等と連携した必修 連携したインターンシップ 提携した演習の授業時数 特数 ち企業等と連携した必修 まました。	受審年月: 平 の授業時数 の実験・実習・身 の演習の授業時 の授業時数)	成26年3月 実技の授業時数 等数		評価結果を掲	載した	960 単位時間 960 単位時間 0 単位時間 960 単位時間 960 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位	以来社ノンノール
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実習等 の実施状況(A, BL)ず	株式会社テー ■民間の評名 ※有の場合 https://www (A:単位時間	イクシステムズ、 ・	三者評価: DINT任意 定非営利活評価研究機 rtment/ores 5企業等と 3 5企業等と 3 5企業等と 5 6企業等と 3 5 6 6 6 6 6 6 7 8 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	記載 動法人 私立専門学校構 thors/screen/ 提した実験・実習・実技に 提した演習の授業時数 ち企業等と連携した必修 主携したインターンシップ 提携した演習の授業時数 特数 ち企業等と連携した必修 大企業等と連携した必修 大企業等と連携した必修 大企業等と連携した必修	受審年月: 平 の授業時数 の実験・実習・身 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数	成26年3月 実技の授業時数 等数		評価結果を掲	載した	960 単位時間 960 単位時間 0 単位時間 960 単位時間 960 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位	以来はノンケール
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実習等 の実施状況(A, BL)ず	株式会社テー ■民間の評名 ※有の場合 https://www (A:単位時間	イクシステムズ、 ・	三者評価: DINT任意 定非営利活評価研究機 rtment/ores 5企業等と 3 5企業等と 3 5企業等と 5 6企業等と 3 5 6 6 6 6 6 6 7 8 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	記載 動法人 私立専門学校構 ttors/screen/ 提した実験・実習・実技に 技した演習の授業時数 ち企業等と連携した必修 連携したインターンシップ 提携した演習の授業時数 特数 ち企業等と連携した必修 まました。	受審年月: 平 の授業時数 の実験・実習・身 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数	成26年3月 実技の授業時数 等数		評価結果を掲	載した	960 単位時間 960 単位時間 0 単位時間 960 単位時間 960 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位	1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実習等 の実施状況(A, BL)ず	株式会社テー ■民間の評名 ※有の場合 https://www (A:単位時間	イクシステムズ、 ・	三者評価: DINT任意 定非営利活評価研究機 rtment/ores 5企業等と 3 5企業等と 3 5企業等と 5 6企業等と 3 5 6 6 6 6 6 6 7 8 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	記載 動法人 私立専門学校構 thors/screen/ 提した実験・実習・実技に 提した演習の授業時数 ち企業等と連携した必修 主携したインターンシップ 提携した演習の授業時数 特数 ち企業等と連携した必修 大企業等と連携した必修 大企業等と連携した必修 大企業等と連携した必修	受審年月: 平 の授業時数 の実験・実習・身 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数	成26年3月 実技の授業時数 等数		評価結果を掲	載した	960 単位時間 960 単位時間 0 単位時間 960 単位時間 960 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位	1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実習等 の実施状況(A, BL)ず	株式会社テー ■民間の評名 ※有の場合 https://www (A:単位時間	イクシステムズ、 ・	三者評価: DINT任意 定非営利活評価研究機 rtment/ores 5企業等と 3 5企業等と 3 5企業等と 5 6企業等と 3 5 6 6 6 6 6 6 7 8 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	記載 動法人 私立専門学校構 thors/screen/ 提した実験・実習・実技に 提した演習の授業時数 ち企業等と連携した必修 主携したインターンシップ 提携した演習の授業時数 特数 ち企業等と連携した必修 大企業等と連携した必修 大企業等と連携した必修 大企業等と連携した必修	受審年月: 平 の授業時数 の実験・実習・身 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数	成26年3月 実技の授業時数 等数		評価結果を掲	載した	960 単位時間 960 単位時間 0 単位時間 960 単位時間 960 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実習等 の実施状況(A, BL)ず	株式会社テー ■民間の評名 ※有の場合 https://www (A:単位時間	1/ウンステムズ、 ・	三者評価語 DIC工任意 DIC工任意 TREMENT OF THE	記載 動法人 私立専門学校構 thors/screen/ 提した実験・実習・実技に 提した演習の授業時数 ち企業等と連携した必修 主携したインターンシップ 提携した演習の授業時数 特数 ち企業等と連携した必修 大企業等と連携した必修 大企業等と連携した必修 大企業等と連携した必修	受審年月:平 の授業時数 の実験・実習・9 のの実験・実習・9 のの演習の授業時数 の実験・実習・9 のの演習の授業時数 ので表験・実習・9 のので表	成26年3月 実技の授業時数 時数 実技の授業時数		評価結果を掲示している。	載した	960 単位時間 960 単位時間 0 単位時間 960 単位時間 960 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位	以来社ググナール
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実習等 の実施状況(A, BL)ず	株式会社テー ■民間の評名 ※有の場合 https://www (A:単位時間	イクシステムズ、 ・	三者評価に記いて任意制を はませい こうない では できませい できませい できませい できな できませい できな できませい できない できない できない できない できない できない できない できな	記載 動法人 私立専門学校構 ttors/screen/ 提供した実験・実習・実技は 提供した演習の授業時数 等な お企業等と連携した必修 お企業等と連携した必修 ま強したインターンシップ 提携した演習の授業時数 等数 ち企業等と連携した必修 連携したインターンシップ を変勢と連携した必修 を変勢と連携した必修 を変勢と連携した必修 を変勢と連携した必修 を変勢と連携した必修 を変勢と連携した必修 を変勢と連携した必修 を変勢と連携した必修	受審年月:平 の授業時数 の実験・実習・9 のの実験・実習・9 のの演習の授業時数 の実験・実習・9 のの演習の授業時数 ので表験・実習・9 のので表	成26年3月 実技の授業時数 時数 (専修学校設	置基準第41条第1項	評価結果を掲示している。	載した	960 単位時間 960 単位時間 960 単位時間 960 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 15 人	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実習等 の実施状況(A, BL)ず	株式会社テー ■民間の評名 ※有の場合 https://www (A:単位時間	イクシステムズ、 ・	言者評価に いて任意 に非営利活機 rtment/cres ら企業等と選案 ち企業等と選果 ち企業等と選果 ち企業等と選果 ち企業等と選果 ち企業等と選果 ち企業等と選果 ち企業等と選果 ち企業等と選果 ち企業等と選果 ち企業等と選果 ち企業等と選果 ち企業等と選果 ち企業等と選果 ち企業等と選果 ち企者	記載 動法人 私立専門学校構 ttors/screen/ 提携した実験・実習・実技に携した演習の授業時数 お企業等と連携した必修 を企業等と連携した必修 連携したインターンシップ 提携した実験・実習・実技に接した必修 連携したインターンシップ を強います。 を変します。 を変しまする を変します。 を変しまする を変	受審年月:平 の授業時数 の実験・実習・9 のの実験・実習・9 のの演習の授業時数 の実験・実習・9 のの演習の授業時数 ので表験・実習・9 のので表	成26年3月 実技の授業時数 時数 実技の授業時数 情数 (専修学校設	置基準第41条第1項	評価結果を掲示してご	載した	960 単位時間 960 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 1 単位	1、 京社 ノンナール
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実習等 の実施状況(A、Bいず れかに記入)	株式会社デー ■民間の評合 https://www (A:単位時間	1/ウンステムズ、 ・	三者評価: DNT任意	記載 動法人 私立専門学校構 ttors/screen/ 提携した実験・実習・実技 提携した演習の授業時数 お企業等と連携した必修 直携したインターンシップ 提携した演習の授業時数 特数 ち企業等と連携した必修 連携したインターンシップ は携した実験・実習・実技 提した演習の授業時数 特数 ち企業等と連携した必修 連携したインターンシップ を講覧したインターンシップ があって、当該専門課程とを通算して六年以上とが 等	受審年月:平 の授業時数 の実験・実習・9 のの実験・実習・9 のの演習の授業時数 の実験・実習・9 のの演習の授業時数 ので表験・実習・9 のので表	成26年3月 実技の授業時数 時数 (専修学校設 (専修学校設	置基準第41条第1項 置基準第41条第1項 置基準第41条第1項	評価結果を掲示しなべつ3	載した	960 単位時間 960 単位時間 0 単位 単位 単位 単位 単位 単位 1 人 0 人	以来はノンテール
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実習等 の実施状況(A、Bいず れかに記入)	株式会社デー ■民間の評合 https://www (A:単位時間	イクシステムズ、 ・	三者評価: DNT任意	記載 動法人 私立専門学校構 ttors/screen/ 提携した実験・実習・実技 提携した演習の授業時数 お企業等と連携した必修 直携したインターンシップ 提携した演習の授業時数 特数 ち企業等と連携した必修 連携したインターンシップ は携した実験・実習・実技 提した演習の授業時数 特数 ち企業等と連携した必修 連携したインターンシップ を講覧したインターンシップ があって、当該専門課程とを通算して六年以上とが 等	受審年月:平 の授業時数 の実験・実習・9 のの実験・実習・9 のの演習の授業時数 の実験・実習・9 のの演習の授業時数 ので表験・実習・9 のので表	成26年3月 実技の授業時数 時数 (専修学校設 (専修学校設	置基準第41条第1項	評価結果を掲示しなべつ3	載した	960 単位時間 960 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 1 単位	1、 京社 ノンナール
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実習等 の実施状況(A、Bいず れかに記入)	株式会社デー ■民間の評合 https://www (A:単位時間	1/ウンステムズ、 ・	三者評価: DNT任意	記載 動法人 私立専門学校構 ttors/screen/ 提携した実験・実習・実技 提携した演習の授業時数 お企業等と連携した必修 直携したインターンシップ 提携した演習の授業時数 特数 ち企業等と連携した必修 連携したインターンシップ は携した実験・実習・実技 提した演習の授業時数 特数 ち企業等と連携した必修 連携したインターンシップ を講覧したインターンシップ があって、当該専門課程とを通算して六年以上とが 等	受審年月:平 の授業時数 の実験・実習・9 のの実験・実習・9 のの演習の授業時数 の実験・実習・9 のの演習の授業時数 ので表験・実習・9 のので表	成26年3月 実技の授業時数 時数 (専修学校設 (専修学校設 (専修学校設 (専修学校投	置基準第41条第1項 置基準第41条第1項 置基準第41条第1項	評価結果を掲示してご	載した	960 単位時間 960 単位時間 0 単位 単位 単位 単位 単位 単位 1 人 0 人	1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実習等 の実施状況(A、Bいず れかに記入)	株式会社デー ■民間の評合 https://www (A:単位時間	イクシステムズ、 ・	三者評価: DNT任意	記載 動法人 私立専門学校構 ttors/screen/ 提携した実験・実習・実技 提携した演習の授業時数 お企業等と連携した必修 直携したインターンシップ 提携した演習の授業時数 特数 ち企業等と連携した必修 連携したインターンシップ は携した実験・実習・実技 提した演習の授業時数 特数 ち企業等と連携した必修 連携したインターンシップ を講覧したインターンシップ があって、当該専門課程とを通算して六年以上とが 等	受審年月:平 の授業時数 の実験・実習・9 のの実験・実習・9 のの演習の授業時数 の実験・実習・9 のの演習の授業時数 ので表験・実習・9 のので表	成26年3月 実技の授業時数 時数 (専修学校設 (専修学校設 (専修学校設 (専修学校投	者 置基準第41条第1項 置基準第41条第1項 置基準第41条第1項	評価結果を掲示してご	載した	960 単位時間 960 単位時間 0 単位時間 960 単位時間 960 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 5 単位 単位 単位 単位 単位 1 単位 1 単位 1 単位 1 単位 1	1、 京社 ノンナール
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実習等 の実施状況(A、Bいず れかに記入)	株式会社デー ■民間の評合 https://www (A:単位時間	イクシステムズ、 ・	三者評価: DNT任意	記載 動法人 私立専門学校構 ttors/screen/ 提携した実験・実習・実技 提携した演習の授業時数 お企業等と連携した必修 直携したインターンシップ 提携した演習の授業時数 特数 ち企業等と連携した必修 連携したインターンシップ は携した実験・実習・実技 提した演習の授業時数 特数 ち企業等と連携した必修 連携したインターンシップ を講覧したインターンシップ があって、当該専門課程とを通算して六年以上とが 等	受審年月:平 の授業時数 の実験・実習・9 のの実験・実習・9 のの演習の授業時数 の実験・実習・9 のの演習の授業時数 ので表験・実習・9 のので表	成26年3月 実技の授業時数 時数 (専修学校設 (専修学校設 (専修学校設 (専修学校投	者 置基準第41条第1項 置基準第41条第1項 置基準第41条第1項	評価結果を掲示してご	載した	960 単位時間 960 単位時間 0 単位時間 960 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	1、 京社 ノンナール
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実習等 の実施状況(A、Bいず れかに記入)	株式会社デー ■民間の評合 https://www (A:単位時間	イクシステムズ、	三者評価: Div T 任	記載 動法人 私立専門学校構 Ithors/screen/ I携した実験・実習・実技に I携した演習の授業時数 特数 ち企業等と連携した必修 を企業等と連携した必修 主携したインターンシップ I携した演習の授業時数 特数 ち企業等と連携した必修 を企業等と連携した必修 を企業等と連携した必修 を企業等と連携した必修 を企業等と連携した必修 を企業等と連携した必修 を企業等と連携した必修 を企業等と連携した必修 を企業等と連携した必修 を方企業等と連携した必修	受審年月: 平 の授業時数 の実験・実習・身 の演習の授業時数) の授業時数) の授業時数) の授業時数) の授業時数)	成26年3月 実技の授業時数 等数 (専修学校設 (専修学校設 (専修学校設	置基準第41条第1項置基準第41条第1項置基準第41条第1項置基準第41条第1項	評価結果を掲 ホームページ 第1号) 第3号) 第3号) (第4号)	載した	960 単位時間 960 単位時間 0 単位時間 960 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実習等 の実施状況(A、Bいず れかに記入)	株式会社デー ■民間の評合 https://www (A:単位時間	イクシステムズ、	三者評価: a c c c c c c c c c c c c c c c c c c	記載 動法人 私立専門学校構 ttors/screen/ 提携した実験・実習・実技 提携した演習の授業時数 お企業等と連携した必修 直携したインターンシップ 提携した演習の授業時数 特数 ち企業等と連携した必修 連携したインターンシップ は携した実験・実習・実技 提した演習の授業時数 特数 ち企業等と連携した必修 連携したインターンシップ を講覧したインターンシップ があって、当該専門課程とを通算して六年以上とが 等	受審年月: 平 の授業時数 の実験・実習・身 の演習の授業時数) の授業時数) の授業時数) の授業時数) の授業時数)	成26年3月 実技の授業時数 等数 (専修学校設 (専修学校設 (専修学校設	置基準第41条第1項置基準第41条第1項置基準第41条第1項置基準第41条第1項	評価結果を掲 ホームページ 第1号) 第3号) 第3号) (第4号)	載した	960 単位時間 960 単位時間 0 単位時間 960 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

映像制作の基本技術を日本映画テレビ技術協会など連携企業から教授してもらうことと、映像業界も技術革新の進歩が著しく、業界のスキル標準まで学生の技術力を高めてもらうことを目的として意見を頂戴する。また、意見に対してカリキュラムに反映し、その結果を編成委員へ次回フィードバックする事を目的とする。

- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会は、校長のもとに設置する会議の1つである。校長を委員長とし、学科責任者、学科から委嘱された業界団体及び 企業関係者から各3名以上を委員として構成する。

本委員会は、産学連携による学科カリキュラム、本学生に対する講義科目および演習、実習、インターンシップおよび学内または学外研修、進級・卒業審査等に関する事項、自己点検・評価に関する事項、その他、企業・業界団体等が必要とする教育内容について審議する。審議の結果を踏まえ、校長、学科責任者、教育・学生支援部員で検討し次年度のカリキュラム編成へ反映する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
渡久山 健	一般社団法人日本映画テレビ技術協会	令和6年4月1日~令和7 年3月31日(1年)	1
松丸 明夫	(株)レック	令和6年4月1日~令和7 年3月31日(1年)	3
井上 公二	(株)汐留スタジオ	令和6年4月1日~令和7 年3月31日(1年)	3
勝屋 一朗	(株)テイクシステムズ	令和6年4月1日~令和7 年3月31日(1年)	3
山野 大星	日本工学院八王子専門学校 校長	令和6年4月1日~令和7 年3月31日(1年)	_
倉重 明	日本工学院八王子専門学校 教育·学生支援部 部長	令和6年4月1日~令和7 年3月31日(1年)	-
植木 隆文	日本工学院八王子専門学校 カレッジ長	令和6年4月1日~令和7 年3月31日(1年)	_
石川 祐貴	日本工学院八王子専門学校 科長	令和6年4月1日~令和7 年3月31日(1年)	_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (3月・9月)

(開催日時(実績))

第1回 令和5年09月20日 17:30~19:00 第2回 令和6年03月26日 17:00~18:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

放送業界でのAI活用の現状について、撮影や編集、人事採用の側面から意見を頂戴し、編集作業の工程でAIを使った自動翻訳を利用したり、著作権フリーの曲作りをAIで行っている。後処理に対するAI技術の発展を現場でも実感していて、学生のうちにAIに触れて慣れておくことが重要でカリキュラムにAI授業を取り入れるのはどうかとの意見を頂いた。今後、AI分野の勉強を教員にも勧めていかなければならない。

高校生、専門学生に放送業界の魅力を伝えるにはどうすれば良いかの議論では、様々な仲間と一緒に一つの作品を作り上げる達成感 を経験してもらう。八王子校の広さを活かしたドローン実習は学科や放送業界への興味に繋がり、学校としての売りにしていくべきとの意 見を頂き、新年度はドローンを学科機材として所有しました。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等との打合せにより、企業等のニーズに沿った実習内容や評価方法を設定し、目標を明確にする。企業等からの派遣講師による実 践的な実習・演習を実施後、企業等の派遣講師による評価に基づき、教員が成績評価・単位認定を行う。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

|※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

1年次ローテーション実習、カテゴリー実習としてコース、分野を詳細に専攻別けして、基礎知識の習得を図り、職業理解に繋げ、専攻 コースを決定する。2年次の番組制作を通して専門知識、能力のレベルアップを目的とし基礎力・技術力・人間力を磨き、実践の場での課 題を自ら問題解決を思考し、成功体験へと導く。

企業等との打合せにより、企業等のニーズに沿った実習内容や評価方法を設定し、目標を明確にする。企業等からの派遣講師による実 践的な実習・演習を実施後、企業等の派遣講師による評価に基づき、教員が成績評価・単位認定を行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	企業連携の方法	科目概要	連携企業等
演習1	1.【校内】企業等からの 講師が全ての授業を主 担当	各コースやテーマ別に、実習を通して 映像制作の基礎を習得します。	株式会社FA. ワークス
演習2	1. 【校内】企業等からの 講師が全ての授業を主 担当	各コースやテーマ別に、実習を通して 映像制作の基礎を習得します。	株式会社FA. ワークス
演習3	1.【校内】企業等からの 講師が全ての授業を主 担当	各コースやテーマ別に、実習を通して 映像制作の基礎を習得します。	株式会社テレビ東京アート
卒業制作	3.【校外】企業内実習(4 に該当するものを除く。)	2年間の集大成として、映像作品の制作を行います。	株式会社テレビ東京アート

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

- (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
- ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

講義と実習、演習の精度を高めるため、学科関連企業の協力のもと、企業等連携研修に関する規定における目的に沿い、学校外の関係者による、学科の内容や教員のスキルに合わせた最新の技術力と技能の修得、現状の把握や学生指導力の向上を図り、次年度へのカリキュラムや学科運営に反映させるために教員研修を実施する。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 業務の効率化とクオリティを向上させるChatGPTの使い方 連携企業等:株式会社クリーク・アン

ド・リバー社

期間: 2023年9月26日 対象: クリエイターズカレッジ教

職員

内容: ChatGPTの基礎、具体的な活用アイデア

ChatGPTの活用事例、生成AI事例、生成AIと著作権、これからの教育

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: AIの今とこれから 教育現場への活用 連携企業等: 株式会社グルーヴノーツ

期間: 2024年3月28日 対象: クリエイターズカレッジ教

職員

内容: ・AIの使用例とこれからの活用方法について

・AI研修および広報研修を踏まえたグループワーク

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 契約と権利と労働 実例編 連携企業等: 株式会社クリーク・アン

ド・リバー社

期間: 2024年7月29日 対象: 放送芸術科 教員

内容: テレビドラマの著作権侵害に関する実例

②指導力の修得・向上のための研修等

生成AIがエンターテイメント業界にもたらす変化 研修名: 連携企業等:株式会社クリーク・アン

ド・リバー社

期間: 2024年9日1日 対象: クリエイターズカレッジ教

内容: ・最新生成AIトピックス・生成AIとは・生成AIによる働い方の変化・教育、学校関連に生成AI事例

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行 うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

|専修学校における学校評価ガイドラインに沿っておこなうことを基本とし、自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を |行い、客観性や透明性を高める。

学校関係者評価委員会として卒業生や地域住民、高等学校教諭、専攻分野の関係団体の関係者等で学校関係者評価委員会を設置 し、当該専攻分野における関係団体においては、実務に関する知見を生かして、教育目標や教育環境等について評価し、その評価結果 を次年度の教育活動の改善の参考とし学校全体の専門性や指導力向上を図る。また、学校関係者への理解促進や連携協力により学校 評価による改善策などを通じ、学校運営の改善の参考とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)教育理念•目標
(2)学校運営	(2)学校運営
(3)教育活動	(3)教育活動
(4)学修成果	(4)学修成果
(5)学生支援	(5)学生支援
(6)教育環境	(6)教育環境
(7)学生の受入れ募集	(7)学生の受入れ募集
(8)財務	(8)財務
(9)法令等の遵守	(9)法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	(10)社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員会会議の中で本校の行った自己点検の評価について

評価委員からの主な意見は次のとおりで、それについての活用(対応)方法は以下のとおりとなります。

・学生に選ばれるための施策(新規獲得)と教職員の採用、満足度向上など課題が多い中ではありますが、意見交換や連携などをして多摩地域の就職に強い専門学 校と多摩地区で必要とされる企業で魅力を伝え、発展をしていければと思います。

現場の最前線で活躍する地元企業の専門家に講師をお願いし、ターゲットを明確にした授業などを実施してみてはどうでしょうか。

・報告内容にe・ラーニングで就職後に役に立つ学内資格の創設と受験勧奨を実施することと、教諭の待遇な数をコンプライアンス順守などがテーマでしたが、業界により職種と担当業務によって必要とされるスキルが違うので、この資格があれば就職に有利というものを一概にお答えすることはできません。弊社では総合職採用と しているので、持っている資格によって配属が決まってしまう可能性もあります。業界内の仕事がもっとスペシャリストを必要とする流れになれば良いのですが、今は 何でもできる人が重宝されていることも事実です

・教員の待遇改善については、先生のレベル・待遇が上がれば授業の質が上がると想像できますので引き続きこの取り組みを継続していただくことに賛成します。

学生への思いや取り組み、社会のニーズに対応して行こうとされている姿勢に感激しており、マイナス評価をする要因がございませんでした。

・ハラスメントについては組織運営の中で非常に重要な部分であり、時代の流れや環境の変化に対応したコミュニケーション能力が求められると思います。教員と学生 となると育ってきている時代背景が全く異なり、価値観や考え方もその時代の影響が根本にあるかと思います。また職員同士も同様です。貴校ではハラスメント研修を 実施しているかと思いますが、それが貴校全体に広まって行けば良いかと思います。ただハラスメントを重要視し過ぎてしまい、変な勘違いをしたり、萎縮したりして、 何でもかんでもハラスメントと訴えてこないような状況にして頂ければと思います。バランスが難しいかと存じます。

・コロナ禍がスッキリ明けたと言えない状況ですが、コロナ禍の真っ只中で授業を受けられていた学生と、新入生とモチベーションのズレが今後出てこなければ良いか と思います。教職員の皆様もコロナ前に戻る回復力が大変ではないかと察します。日本工学院八王子専門学校が第一志望の学校となるよう微力ではございますが、 何なりとご相談いただければと思います

・全体的に特記事項については、過去3カ年ぐらいの実績が書かれていれば良いかと思います。それ以上前のことが書かれていると進化が止まっているような印象を 持ちますので、もし記載するのであれば、改善、実施した結果が書かれていると良いと思います。 ・教職員研修は、実施されると思いますがこれからもどうか業務として認めていただけることも合わせてお願いします。しかし自己研鑽という形ですまさないようお願い

1ます

。 ・保護者会は今後も対面、オンラインなどハイブリット式を継続していただければと思います。 ・毎回ご説明を伺うたびに着実に学校運営を進展されていることに敬意を表したいと思います。殊にコロナ禍における授業のあり方について学生の要望に沿った改革 を着実に図っていることは学ぶ側に取ってとても有難いことかと思われます。また会議の折にもお話いたしましたが対面授業とオンライン授業のハイブリッドにおいて 如何に学生とのコミュニケーションを取るかについてはご苦労された成果がよくわかりました。ただフィードバックのやりすぎということは無いかと思いますので更なる取 り組みを期待しています。高等教育機関の多くが学生募集に苦慮している昨今、選ばれる学校としての特色づくりに精励されているお話も大いに評価されるべきところ です。益々のご発展を期待して次回にうかがえることを楽しみにしております。

以上、学校関係者評価委員会において討議された内容を踏まえ、次の5点について検討し活用する。

- 1. 社会のニーズに対応するため、新設学科の検討を行う。
- 2. 第一志望の学校に選ばれるため教育の質の向上を図る。そのため教員の業務負担の軽減、教育研修の実施、研究授業等に取り組んで行く。
- 3. 企業連携を強化し、地元企業で活躍する実務者に講義を行ってもらい、専門教育の充実を図る。
- 4. 教職員がコンプライアンスの大切さを理解し、学校ハラスメント防止に徹底した取り組みを行う。
- 5. 教職員の満足度調査を引き続き実施し、問題点の洗い出しを行い、満足度向上を目指す。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所属	任期	種別
森 健介	順天堂大学 非常勤講師 (元白梅学園高等学校副校長)	令和6年4月1日~ 令和7年3月31日(1年)	学校関連
金子 英明	日本工学院八王子専門学校 校友会会長 (セントラルエンジニアリング株式会社)	令和6年4月1日~ 令和7年3月31日(1年)	卒業生/企 業等委員
細谷 幸男	八王子商工会議所 専務理事	令和6年4月1日~ 令和7年3月31日(1年)	地域関連
山本 哲志	株式会社フジ・メディア・テクノロジー 管理センター 総務部長	令和6年4月1日~ 令和7年3月31日(1年)	企業等委員
今泉 裕人	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 事務局長	令和6年4月1日~ 令和7年3月31日(1年)	企業等委員
才丸 大介	株式会社カオルデザイン 取締役 マーケティング戦略室 室長	令和6年4月1日~ 令和7年3月31日(1年)	企業等委員
矢野 俊宏	株式会社田中建設 取締役 営業本部長	令和6年4月1日~ 令和7年3月31日(1年)	企業等委員
池田 つぐみ	NPO法人日本ストレッチング協会 理事	令和6年4月1日~ 令和7年3月31日(1年)	企業等委員
石川 仁嗣	医療法人社団 健心会 みなみ野循環器病院 事 務長	令和6年4月1日~ 令和7年3月31日(1年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(<u>5)学校関係者評</u>価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) 広報誌等の刊行物・ その他(

))

URL:

URL:https://www.neec.ac.jp/public/

公表時期: 令和6年9月30日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を 提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

教育目標や教育活動の計画、実績等について、企業や学生とその保護者に対し、必要な情報を提供して十分な説明を行うことにより、学校の指導方針や課題への対応方策等に関し、企業と教職員と学生や保護者との共通理解が深まり、学校が抱える課題・問題等に関する事項についても信頼関係を強めることにつながる。

また、私立学校の定めに基づき「財産目録」「貸借対照表」「収支計算書」「事業報告書」「監事による監査報告」の情報公開を実施している。公開に関する事務は、法人経理部において取扱い、「学校法人片柳学園 財務情報に関する書類閲覧内規」に基づいた運用を実施している。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

	= , 3 3 13 15 - 10 1 0 1 1 1 1 1 1	AP 11 P 12 DAY AND CONTRACTOR OF THE CONTRACTOR
	ガイドラインの項目	学校が設定する項目
	(1)学校の概要、目標及び計画	学校の現況、教育理念・目的・育成人材像、事業計画
	(2)各学科等の教育	目標の設定、教育方法・評価等、教員名簿
		教員·教員組織
		就職等進路、学外実習・インターンシップ等
	(5)様々な教育活動・教育環境	施設•設備等
	(6)学生の生活支援	中途退学への対応、学生相談
	(7)学生納付金・修学支援	学生生活、学納金
	(8)学校の財務	財務基盤、資金収支計算書、事業活動収支計算書
	(9)学校評価	学校評価、令和5年度の項目別の自己評価表
l	(10)国際連携の状況	
	(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ) 広報誌等の刊行物 ・ その他(

))

URL: 公表時期: URL:https://www.neec.ac.jp/public/

公表時期: 令和6年9月30日

授業科目等の概要

				課程 放送芸術科)	一种 一种 市	無口	+==	出	100	サー	- :+	18	ᇛ	≯ /-	문	<u>^</u>
		分類選	自	授業科目名	授業科目概要	配当	授	単		業力	実	場 校	<u>所</u> 校	専	<u>貝</u> 兼	企業
		択心	由選			年次	業	位			験					等と
	修		択				時	数	義	習		内	外	任	任	の
						学期	数				習•					連携
											実技					
)				+\rangle \cdot \cd						ŕ					
1	0			キャリアデザイン1	就職など進路に関わる知識習得・情報収集などを学びます。	1· 前	30		0			0		0		
2	0			キャリアデザイン2	就職など進路に関わる知識習得・情報収集などを学びます。	1· 後	30	2	0			0		0		
3	0			一般教養A1	社会人として必要なビジネスマナー、一般常識を身につけ、就職対策、検定対策を学びます。	1· 前	30	2	0			0		0		
4	0			一般教養A2	社会人として必要なビジネスマナー、一般常識を身につけ、就職対策、検定対策を学びます。	1· 後	30	2	0			0		0		
5	0			一般教養B1	映像における放送史、映画史、また時事問題などを学びます。	1· 前	30	2	0			0			0	
6	0			一般教養B2	映像における放送史、映画史、また時事問題などを学びます。	1· 後	30	2	0			0			0	
7			0	一般教養C1	クリエイターに必要な用語や方法論、基礎教養を学びます。	1· 前	30	2	0			0			0	
8			0	一般教養C2	クリエイターに必要な用語や方法論、基礎教養を学びます。	1· 後	30	2	0			0			0	
9	0			映像リテラシーA1	TV、映画などにおける、カメラ、音声、照明、編集、制作、美術などの基礎的知識を学びます。	1· 前	30	2	0			0		0		
10	0			映像リテラシーA2	TV、映画などにおける、カメラ、音声、照明、編集、制作、美術などの基礎的知識を学びます。	1· 後	30	2	0			Ο		0		
11	0			映像リテラシーB1	TV、映画などにおける、カメラ、音声、照明、編集、制作、美術などの基礎的知識を学びます。	1• 前	30	2	0			Ο		0		
12	0			映像リテラシーB2	TV、映画などにおける、カメラ、音声、照明、編集、制作、美術などの基礎的知識を学びます。	1• 後	30	2	0			0		0		
13	0			映像リテラシーC1	TV、映画などにおける、カメラ、音声、照明、編集、制作、美術などの基礎的知識を学びます。	1· 前	30	2	0			0			0	
14	0			映像リテラシーC2	TV、映画などにおける、カメラ、音声、照明、編集、制作、美術などの基礎的知識を学びます。	1· 後	30	2	0			0		0		
15	0			番組制作1	番組制作や作品鑑賞によって表現方法を学びます。	1· 前	30	2	0			0		0		
16	0			番組制作2	番組制作や作品鑑賞によって表現方法を学びます。	1· 後	30	2	0			0		0		
17	0			演習1	各コースやテーマ別に、実習を通して映像制作の基礎を習得します。	1· 前	240	8			0	0			0	0
18	0			演習2	各コースやテーマ別に、実習を通して映像制作の基礎を習得します。	1· 後	240	8			0	0			0	0
19			0	ワークショップ1	クリエイターのためのテーマごとの講座です。	1· 前	60	4	0			0			0	

図 日 日 日 日 日 日 日 日 日				厚門課程 放送芸術科)							☆ 1º 赤子 ナ						
# 根	-					授業科目概要		授	単						教		企業
修 修 駅		必	択	由			年	業	位	舑	决		仪	仪	守	ボ	等
20		修	必修	選 択			次 ・	時	数	義	習	実	内	外	任	任	との
20				,				*h							i		連携
20							州	奴									155
21												技					
22	20			0	ワークショップ2	クリエイターのためのテーマごとの講座です。	-	60	4	0			0			0	
1	21			0	特別講義1	のさまざまな体験談を聞きます。		60	4	0			0			0	
とを学びます。				0		のさまざまな体験談を聞きます。	後	60								0	
とを学びます。 後	23	0			キャリアデザイン3			30	2	0			0		0		
像を学びます。	24	0			キャリアデザイン4	どを学びます。		30	2	0			0		0		
株を学びます。 後	25	0			映像リテラシーD1			30	2	0			0			0	
28	26	0			映像リテラシーD2			30	2	0			0			0	
クーション全般を学びます。 後 29 ○ 映像リテラシーF1 映像作品のドラマ、バラエティ、ドキュメンタ リーなど構成と演出について学びます。 前	27	0			映像リテラシーE1			30	2	0			0			0	
リーなど構成と演出について学びます。 前	28	0			映像リテラシーE2		1-	30	2	0			0			0	
31 ○ 番組制作3 番組制作や作品鑑賞によって表現方法を学び 2・ fin 60 4 ○ ○ 32 ○ 番組制作4 番組制作や作品鑑賞によって表現方法を学び 2・ fin 60 4 ○ ○ 33 ○ 演習3 各コースやテーマ別に、実習を通して映像制 2・ fin 240 8 ○ ○ 34 ○ 卒業制作 2年間の集大成として、映像作品の制作を行 2・ fin 240 8 ○ ○ ○ 35 ○ ビジネススキル1 就職など進路に関わる知識習得・情報収集な 2・ fin 30 2 ○ ○ ○ ○ ○ 36 ○ ビジネススキル2 就職など進路に関わる知識習得・情報収集な 2・ fin 30 2 ○ ○ ○ ○ ○ ○ 37 ○ ワークショップ3 クリエイターのためのテーマごとの講座です。 2・ fin 60 4 ○ ○ ○ ○ ○ ○ 38 ○ ワークショップ4 クリエイターのためのテーマごとの講座です。 2・ fin 60 4 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	29	0			映像リテラシーF1		_	30	2	0			0			0	
ます。	30	0			映像リテラシーF2			30	2	0			0			0	
ます。 後	31	0			番組制作3			60	4	0			0			0	
作の基礎を習得します。 前	32	0			番組制作4			60	4	0			0			0	
います。	33	0			演習3			240	8			0	0			0	0
36 ○ ビジネススキル2 就職など進路に関わる知識習得・情報収集な 2・ 後 30 2 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	34	0			卒業制作			240	8			0		0		0	0
37 〇 ワークショップ3 クリエイターのためのテーマごとの講座です。 2・ 前 60 4 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	35			0	ビジネススキル1			30	2	0			0	0			
前	36			0	ビジネススキル2			30	2	0			0	0			
39 ○ 特別講義3 映画鑑賞のほか、番組制作担当者から現場のきまざまな体験談を聞きます。 2・ 60 4 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	37			0	ワークショップ3	クリエイターのためのテーマごとの講座です。	17.	60	4	0			0			0	
40 ○ 特別講義4 映画鑑賞のほか、番組制作担当者から現場のきまざまな体験談を聞きます。 2・ 60 4 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	38			0	ワークショップ4	クリエイターのためのテーマごとの講座です。		60	4	0			0			0	
41 〇 インターンシップ 企業が実施する研修に参加し、現場作業を体 2・ 120 4 0 0 0	39			0	特別講義3			60	4	0			0			0	
	40			0	特別講義4	映画鑑賞のほか、番組制作担当者から現場		60	4	0			0			0	
	41			0	インターンシップ			120	4			0		0		0	
合計 41 科目 2460時間 単位(単何 128単位	1				合計	41	杉	目					È	单位	(単(立時	間)

(芸	術具	門	課程 放送芸術科)												
•	分類	·	授業科目名	授業科目概要	配	授	単	授	業方	法	場	所	教	員	企
必	選	自			当			講	演	実	校	校	専	兼	業
	択	由			年	業	位			験					等
	必	選			次					•					٤
修	修	択				時	数	義	習	実	内	外	任	任	の
					学				_	習					連
					期	数				-					携
										実					
										技					
										.~					

卒業要件及び履修方法	授業期間	等
卒業要件: 卒業時に必修科目1740時間(84単位)および選択科目0時間(0単位)以上取得し、合	1学年の学期区分	2 期
計1740時間(84単位)以上取得すること。		
履修方法: 1年次は必須900時間、選択科目0時間以上履修すること。	1学期の授業期間	15 週
2年次は必須840時間、選択科目0時間以上履修すること。		

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。